

2009年度シラバスシステム 基本仕様書

松吉 健太

2009 年 3 月 31 日

目 次

1	はじめに	3
2	用語定義	3
3	システムの概要	3
4	対象となるユーザ	5
5	システム構成	5
5.1	ハードウェア構成	5
5.1.1	サーバ	5
5.1.2	ソフトウェア構成	5
6	開発体制	6
6.1	M1	6
6.2	B4	6
6.3	B3	6
7	開発スケジュール	6
8	開発環境	6
8.1	開発言語	6
8.2	依存関係	6

1 はじめに

本書は岡山県立大学におけるシラバスの作成を支援する「シラバスシステム」の要件を定義するものである。

2 用語定義

以下にシラバスシステム内で用いる用語・語句を定義する。

- シラバス
授業科目の計画や目的を示す資料一科目が1ページとなる。
- 授業科目名
授業科目の日本語名及び英語名、()内は英語名
- 担当教員
授業科目を担当する教員の氏名常勤の場合は授業科目を担当する教員の岡山県立大学の部屋番号、非常勤の場合は()内に非常勤と記入すぐ後ろには授業科目を担当する教員のメールアドレスも記入
- 対象学年
講義の対象となる学年
- 概略
講義内容や科目の説明
- 授業科目の到達目標
単位を取得する際、理解しているのが望ましいとされる部分
- 履修上の注意
履修する際に習得しておくべき要件やその他講義の形式等
- 授業内容とスケジュール
各回講義内容の要点、概要
- 単位数
授業科目を履修した場合に生徒が取得する単位の数

3 システムの概要

本システムの目的はシラバスの効率的な作成である。シラバスシステムは稼働前に対象となるユーザへログイン名とログインパスワードの配布を行う。教務委員のユーザには同時に管理者パスワードの配布を行う。

システム稼働期間中はユーザは配布されたログイン名とパスワードを用いシステムにログインし、シラバスの入力を行う。

ログインすると、科目一覧、科目の新規登録、パスワード変更、ログアウトが表示される。

- 科目一覧
 - － 編集
作成中（登録済み）の科目の内容を編集
 - － PDF
編集した科目の仕上がりを見る
 - － 削除
編集した科目を削除
- 科目の新規登録
科目名を入力し、登録をクリックすると新規に科目が登録される（登録した科目名がそのままの科目名になる、科目一覧の編集で変更可能）
- パスワード変更
新規パスワードを入力し、変更をクリックするとパスワードが変更できる
- ログアウト
ログアウトしてトップ画面に移る編集を行うにはログインし直す必要がある。

4 対象となるユーザ

- 教員
岡山県立大学の教員。
非常勤講師が担当する科目は担当の教務委員が入力を行う。
- 動作保証 OS
 - Windows XP
 - Windows Vista
 - Linux 系 OS
- 動作保証ブラウザ
 - InternetExplorer 6
 - InternetExplorer 7
 - Firefoxe 3

5 システム構成

5.1 ハードウェア構成

5.1.1 サーバ

横田研 alpha サーバ

- IP アドレス 163.225.223.3
- スペック
CPU0: Intel Pentium III (Coppermine) stepping 0a
Memory: 1033568k/1048320k available

5.1.2 ソフトウェア構成

- OS VineLinux4.2
- PHP5.2.6
- Apache2 Web サーバ。
- ptetex
UTF-8 がサポートする文字を利用する為に、導入されている。

6 開発体制

6.1 M1

小宮山

6.2 B4

結城
有安

6.3 B3

上田
岡崎
岡本
金子
近藤
松吉

7 開発スケジュール

2008 年度年末

8 開発環境

8.1 開発言語

- PHP PHP 5.2.6 を利用。
- CSS
- XML

8.2 依存関係

- php.xml PHP において XML 文章をパースする為のライブラリ。
- php.apache2 Web サーバが適切に PHP を解釈するための設定ファイルなど。
- Adobe Reader 作成した PDF ファイルの閲覧。